

別紙

前年度の温室効果ガスの排出の量及び排出削減計画に基づき実施した措置の状況

氏名	(法人にあっては名称) 株式会社 ヨータイ	住所	(法人にあっては主たる事業所の所在地) 〒 597-0093 大阪府貝塚市二色中町 8 - 1
----	--------------------------	----	---

本票作成 部署名：吉永工場 製造部

主たる業種	分類コード	21	業種名：窯業・土石製品製造業
-------	-------	----	----------------

事業の概要	耐火れんがの製造 令和4年度生産量 82.41 千 t (県内工場) 従業員数408名 (県内)		
-------	--	--	--

県内の主な工場等	番号	工場等の名称	所在地
	①	日生工場	備前市日生町日生 2 6 0 1
	②	吉永工場	備前市吉永町南方 1 2 5 0

特定事業者の該当要件	<input checked="" type="checkbox"/> ①燃料等原油換算1,500kl以上 <input type="checkbox"/> ②バス・トラック100台、タクシー250台以上 <input checked="" type="checkbox"/> ③CO ₂ 換算3,000t以上 (●工場等の数 2 所 ●車両台数 (②該当の場合) 台)		
------------	---	--	--

温室効果ガス排出量	基準年度 (令和 元 年度)	(令和 4) 年度排出量	目標年度 (令和 6 年度)
	36,626 t CO ₂	30,674 t CO ₂	35,527 t CO ₂

主な工場等の排出量	番号	工場等の名称	(令和 4) 年度排出量
	①	日生工場	21,521 t CO ₂
	②	吉永工場	9,153 t CO ₂
			t CO ₂
			t CO ₂
			t CO ₂

削減目標の達成状況	計画期間：	令和 2 年度	～	令和 6 年度	(5 箇年度)
	<input type="checkbox"/> 総排出量基準	(4) 年度削減実績	目標削減率	目標達成	
	<input checked="" type="checkbox"/> 原単位基準	18.8 %	3.0 %	<input checked="" type="checkbox"/> 達成	<input type="checkbox"/> 未達

(原単位基準の削減目標を選択している場合に記入)	温室効果ガスの排出量と密接な関係をもつ値の内容 日生工場、吉永工場の生産量の合計	原単位当たり排出量		
		基準年度	(4) 年度	目標年度
		458 t CO ₂ /(千 t)	372 t CO ₂ /(千 t)	444 t CO ₂ /(千 t)

(該当事業者のみ記入)

ベンチマーク指標の状況	対象事業の名称	ベンチマーク指標	関連数値 (令和 4 年度)	達成率等

【削減状況の自己評価】

日生工場、吉永工場ともに原単位が減少し目標を達成することができた。
 日生工場は2022年度は鉄鋼需要の低迷などの影響を受けて受注減となり、生産量は対前年-8.3%と落ち込んだものの、他工場への移管もあり原単位の悪い品種の生産が少なかったことなどでCO₂排出量も-11.8%となり、日生工場のCO₂原単位は良化した。過去から進めてきた県外工場を含む当社工場間での生産品目の移管と集約などにより生産効率の向上が見られたことが良化した要因である。
 吉永工場は、コロナ禍からの回復により、生産量は、前年同期比1.9%増加することで生産効率が向上したことと、日々の省エネ対策の効果により、CO₂の排出量は6.7%減少しており、吉永工場のCO₂原単位は良化した。
 これらの結果、両工場合わせて原単位基準で18.8%良化した。予定を上回るペースで原単位の良化が得られている。

【推進体制】

各工場に省エネ推進担当者を設置し、その統括として常務取締役をトップに、エネルギー関連担当者（製造部主席）を取りまとめ役として推進。

【目標削減率達成のために実施した措置及び今後の取組】

工場等の名称	実施した措置及び今後の取組の内容
日生工場	(令和4年度実施分) ・不定形の製造工場の見直し、集約 ・バッチキルンでの焼成を原単位が良い他工場への焼成に移管 ・不定形製品の生産量を増やすことでCO2原単位を低減 ・省エネタイプ照明への変更（順次実施中） ・フォークリフト更新時にEV車両を導入(5台)
吉永工場	(今後実施予定分) ・消費電力が少ないプレスの導入とそのプレスへの製造振替 ・乾燥炉断熱化（一部実施） ・太陽光発電パネルの設置 ・フォークリフト更新時にEV車両を導入(継続)
	(令和4年度実施分) ・水銀灯および蛍光灯の更新時にLEDを採用(65台) ・トンネルキルンと乾燥炉の連結ダクトに断熱シートを施工 ・フォークリフト更新時にEV車両を導入(13台) ・事務所新設に伴い空調設備に空冷ヒートポンプ式を導入 ・コンプレッサーのエアリー漏れを随時改修
	(今後実施予定分) ・太陽光発電パネルの増設 ・エンジンリフトをEV式リフトへの買い替え

【森林保全等吸収源対策への取組】

県内での取組	無	
その他	無	

【再生可能エネルギーの導入】

県内での取組	有	吉永第二工場に太陽光パネルを設置し、2021年6月から稼働中。太陽光パネルを増設し、2023年9月より稼働予定。
その他	無	

【その他特記事項】

エンジニアリング事業部、技術研究所、岡山支社は日生工場内にあるため日生工場に含んでいます。